

金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告

ごあいさつ



議会報告



金城善英 HP

今年こそは、新型コロナに打ち勝ち、希望溢れる年にしていきたいと思います。
 今年も医療に携わる方々に心から感謝申し上げますとともに早期の新型コロナウイルス感染拡大の終息を願い、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

令和3年の新年を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に見舞われた1年でした。感染によりご逝去された方々に心からお悔やみ申し上げます。罹患された方々に心からお見舞い申し上げます。

激変する世界情勢の中にあって、政府は諸外国に遅れを取つて、社会のデジタル化を加速度的に推進する方針です。また、気候変動による災害の激甚化や被害の拡大には、世界が連帶して地球温暖化対策を進める必要があります。

未だ、日常的には感染防止対策をしながらの生活が続きますが、今後のワクチン接種が安全で円滑に実施されるとを期待いたします。そして、

12月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、新型コロナウイルス感染症について

第201回名護市定例会(12月定例会)は、令和2年12月3日から12月21日までの会期で行われました。名護市一般会計補正予算(第7号)含む市長提出議案14件、報告1件、議員提出先議案件1件及び意見書案、決議案各1件、追加議案として、市長提出議案2件、議員提出意見書案3件、決議案2件が審議されました。さらに陳情3件が各委員会へ付託されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第130号(3月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

二、社会のデジタル化について

質問(1)デジタル化の恩恵が全ての人に行き渡るような環境整備のために高齢者や障がい者を支援するデジタル活用支援員について

答弁 国の実施事業を注視しながら検討したい
 質問(2)マイナンバーカードの普及と今後、健康保険証として活用することで本市の対応について

答弁 今年度は、1月末現在で2,565枚と対前年比約2倍に伸びています。今後、J-LSより全国一斉に申請書が郵送される予定で、カード取得を促すとしている (裏面)

はなされていないために把握が難しい状況です。4月2人、7月2人、県の緊急事態宣言が発令された8月25人、解除後の9月6人、10月16人、11月22人、12月にはクラスター(集団感染)の発生もあり17人で感染拡大に歯止めがかかっていない状況です

質問(2)医療体制の現状はどうか

答弁 県コロナ対策本部総括情報部において、医師であるコーディネーターを中心に沖縄県全域の入院情報を収集し、入院病床調整、宿泊療養調整等がなされ、県全体での病床コントロールの体制がとられているとのことです。

北部管内においては、感染症指定医療機関である県立北部病院及び協力医療機関である北部地区医師会病院において、現在、病床数36床が確保されており、12月10日時点で、空床がある状況と聞いている

質問(1)本市における新型コロナウイルス感染症陽性者数と重症者数の推移について

答弁 重症者数については、市町村ごとの公表

(1面からつづく)

3月の国民健康保険の更新保険証発送の際に、カード取得促進に関するチラシを同封する

質問(3) スポーツ施設や公共施設の予約状況や利用申請、決済システムの構築について

答弁 国の「地方公共団体における利用促進指針」において、地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きにも掲げられており、施設を所管する関係課とも協議しながら、情報政策部門として積極的に取り組む

三、地域経済振興について

質問(1) ワーケーション拠点施設整備事業について
ア、経済波及効果、将来展望について
働き方の多様化など新たなニーズへの対応について
ウ、名護湾沿岸基本構想での位置づけで、玄関口として名護市や北部地域やんばるの魅力を発信できる大型モニターの設置について
エ、電気自動車(EV)用充電設備の設置について
オ、テレワーカやオンラインなどに必要な電気・通信設備などの環境整備について
カ、喜瀬区の見解について

答弁 ア、本施設来訪者の滞在日数延長による波及効果額は約10億円／年間を見込む。将来展望について、今後、需要は高まる予測している。
イ、国内外のリゾート地や帰省先など、休暇中の旅行で仕事をする「ワーケーション」が注目されており推進する。
ウ、名護市の魅力を発信するモニターの設置等の手段について実施設計の中で検討する。
エ、カーシェア(電気自動車)の設置や充電設備についても本施設利用者の意向を踏まえ検討する。
オ、類似施設等を参考にしつつ、必要な設備を確認し、実施設計において反映させる。
カ、後背地の活用促進につなげるよう要請があり、本市としても「名護湾沿岸基本構想」において進めている。

四、子育て・教育行政について

質問(1) ブックスタート事業の実施状況について
答弁 10月21日から毎月第3水曜日の午前11時から中央図書館の会議室にて3名のボランティアにご協力をいただき実施中

質問(2) GIGAスクール構想について

ア、GIGAスクールネットワーク整備事業、GIGAスクール構想推進事業(Wi-Fiルーター・サポーター配置)の進捗状況について
イ、不登校や長期入院中の児童生徒の対応について



やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？

日刊(1ヶ月 1,887円/税込)

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

対策の両立への本市の取り組みについて

答弁 今後も、国や県の動向も注視しながら、現在実施している新型コロナウイルス感染対策と経済対策等の期間延長など柔軟に対応する

質問(3) 超高速通信サービス整備事業で屋部地域の一部、屋我地地域、久志地域(二見以北)の進捗状況について

答弁 市が事業実施予定者として選定した西日本(株)沖縄支店が国の補助事業者へ補助金の申請を行っており、交付決定待ちであり交付決定後、速やかに事業着手したい

線2基)

答弁 損傷原因箇所の確認を行い補修していく

質問(2) 市道名護59号線(護佐喜宮横)横断歩道の移動について

答弁 改めて名護警察署へ移設に関する進捗状況の確認をしたところ、県警本部へ上申をしておりますが調整に時間を要しているとの回答

質問(3) 市道大北3号(かねひで大北店横)の修繕について

答弁 以前より大北区長や区民からの補修要望がありますが、市道用地を自己の所有と主張する2名の方がおり、何度か道路の修繕を計画しましたが実施に至っていない

質問(4) SNSを活用した道路維持管理通報システムの構築について

答弁 来庁者の窓口対応や電話対応に加え、新たにSNSの情報確認を現状の規模で対応可能かなど、想定される課題があり、市の関係部署と調査研究、県内の市町村の活用状況など情報収集する